

## 保健医療福祉の連携と統合の教育 NEWS LETTER ☆ 創刊準備号 ☆

2005年11月25日 創刊準備号

- 本学の「連携と統合」の教育実績とその展開は、平成17年度「特色ある教育活動支援プログラム」「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択されました。
- 今後取り組む教育プロジェクトの内容や進捗状況を紹介し、またご協力いただいている皆さんの声をお伝えするために、定期的にニュースレターを発行します。ご期待ください！！



### 進化する「連携と統合」の教育

#### 目次:

- 進化する「連携と統合」の教育 1
- 国際セミナーを2008年まで計画！！ 1
- プロジェクトの実施目標 2
- みなさんの声をお聞かせください！！ 2

埼玉県立大学では、「連携と統合」という教育理念のもと、学科を越えた教育実践の充実を図ってきました。また平成18年度から健康開発学科という新たな学科を加え、新しいカリキュラムに基づく教育を行ないます。

そこで、これまでの教育・研究・社会貢献の成果を生かし、さらにそれらを発展・充実させるために、新しい教育方法を創造していくことを決意しました。

具体的には、多様なケアの担い手となる学生が共通して学ぶ「連携と統合科目群」を発展・充実させ、新たに4年次において学科混合の小グループ演習科目「インタープロフェSSIONAL演習（以下IP演習）」を全学必修で開講します。

このIP演習を、単なる抽象的な学習にとどまらず、学生の実践力を育むも

のにするためには、地域の援助者や住民の方々の協力が欠かせません。

そこで、本学の研究・教育機能を生かして、援助者や住民の方々に対して、多様な職種の理解や連携技術、ファシリテーション技術に関する研修事業、情報提供活動を、埼玉県の保健・福祉行政と連携して実施します。

これらの教育基盤を整えながら、IP演習を実施し、またその過程で援助者や住民が実際の援助活動やサービス利用に役立つ知識や技術を修得できるよう、研修事業を実施します。

このように学生・教員・地域の援助者・住民が相互に学びながらIP演習に取り組み、地域で発生する具体的な課題に対応できる実践力のある学生の養成を目指すことが、本取組のねらいです。



写真 これまで試行的に実施してきたIP演習の様子

### 国際セミナーを2008年度まで計画！！

保健医療福祉の連携が求められているのは、日本だけの課題ではありません。さまざまな国々の取り組みに学びながら、本学、埼玉県、日本、そしてアジア地域固有の連携の理念や技術をとらえ、その教育方法を開発していく

ために、今後2008年度まで、県立大学主催の国際セミナーを開催します。

今年は、英国専門職連携教育推進センター（CAIPE）よりBarbara Clague氏とHelena Low氏を招き、英国における背景と実際に学びます。



東武鉄道広報センター発行『マンスリーとーぶ』2002年2月号より転載。

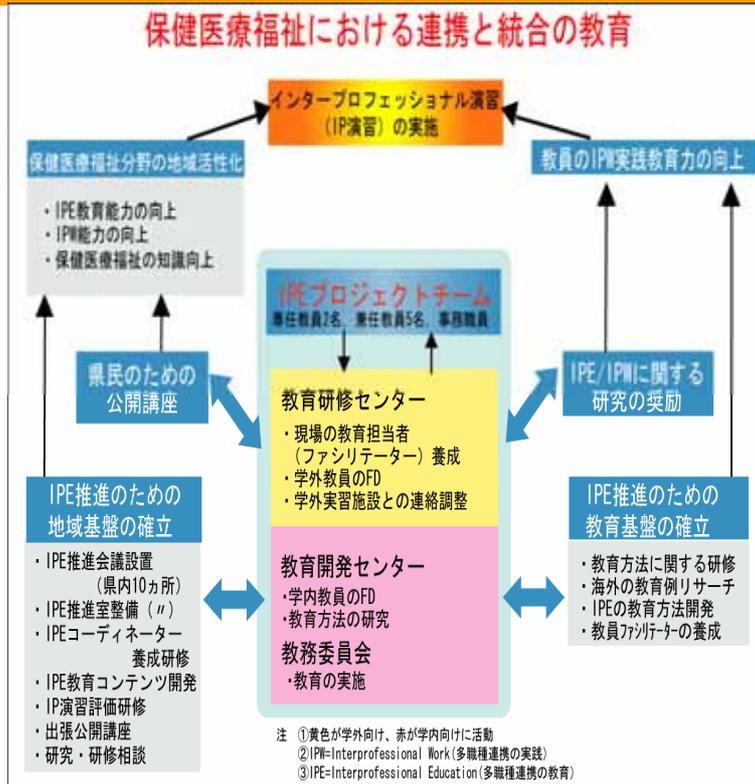
# プロジェクトの実施目標

## 目標1：推進のための組織・拠点・情報基盤づくり

県内10カ所の保健福祉圏域で順次「IPE推進会議」を設置し、多職種・多機関の連携に関わる課題収集と、その解決に向けた取組の企画立案、そして本学IP演習への協力・評価の推進組織として位置づけます。

## 目標2：IPWの実践力と教育力を備えた人材養成

幅広い職種に呼びかけ、本学のIP演習の考え方をはじめ、IPWに関する基礎的な理論学習とその効果や実践的な方法を学ぶ演習、実習指導方法の理論学習・演習を行なう「IPEコーディネーター養成研修」を県内5地域で計画的に開催します。



## 目標3：IP演習の教育コンテンツの開発

実際に5日間のIP演習を実施するにあたり、現場の課題に即した演習テーマ設定や学習環境づくりについて教員と協働して検討する、「準備ワークショップ」を開催します。また18年度より試行的IP演習を拡大します。

## 目標4：IPWを推進する地域開発

学生が行なうIP演習を、報告書やプレゼンテーションによって当該地域の実践へ還元し、それを素材として地域のケアの質の向上に資するような研修プログラムを開発・実施します。

## みなさんの声をお聞かせください！！

この取組みを進めるためには、次の方々のご協力が必要です。ぜひみなさんの声をお寄せください。またアンケート調査等を実施する際には、ご協力ください。



写真：自治医科大学の学生と共に学んだIP演習 終了後の一コマ

**在学生の方々：**これまでの埼玉県立大学の教育課程や授業内容の改善点、今後期待することはなんですか？大学の主人公は、学生の皆さんです。ぜひ教えてください！！

**卒業生の方々：**社会に旅立った皆さん、大学生活を振り返ってみて、大学で学んだことが生かされていますか？今後の県立大学に期待することをは何ですか？教えてください！！

**保健医療福祉サービス従事者のみなさん：**めまぐるしく変化する援助の現場において、いま求められている能力やマインドはどのようなものですか？お考えをお伝えください！！

### 保健医療福祉サービスの利用者・家族のみなさん

実際にサービスを利用する皆さんにとって、どんな援助者に育って欲しいとお考えですか？教えてください！！

**地域住民のみなさん：**県立の大学として、どのような教育や研究、社会貢献活動を期待しますか？ぜひ、教えてください！！

**教職員及び保健医療福祉政策担当者のみなさん：**県民や実践現場のニーズをとらえ、研究・教育に反映させるにはどうすればいいか、ぜひお力をお貸しください！！

ホームページにもご注目ください。今後順次充実させていく予定です。  
<http://www.spu.ac.jp>



## 埼玉県立大学 大学改革推進委員会GP実施部会

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820 埼玉県立大学・大学改革推進室

電話：048-973-4306 Fax:048-973-4808 Email:kaikaku@spu.ac.jp

発行責任者：GP実施部会 部会長 坂田悍教（看護学科）

広報担当 朝日雅也 新井利民（社会福祉学科）